

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52100 畜産事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費	個別分野		7	畜産業							
	項	2	畜産業費	施策概要		1	活気ある畜産生産地づくり							
	目	1	畜産総務費	根拠計画										
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産業の振興を図る。	概要	・飛騨畜産振興会の活動支援、畜産委員への報酬等
----	-------------	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	97億円	104億円	79億円
「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じている市民の割合	(H26) 71.6%	70.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		1,043	1,022	1,025	1,025	991	△ 31
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	30	30	30	30	30	0
	その他(敷地占用料)	36	40	36	36	40	0
一般財源		977	952	959	959	921	△ 31
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨畜産振興会負担金	737	737	745	745	745	8

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		-
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,032	1,041	1,041		16
30	30	30		0
40	36	36		0
962	975	975		16
査定額	説明			
761	飛騨広域で行なう畜産振興事業への負担			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・畜産振興会議の開催(19回) ・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・全共取り組み・家畜伝染病への対策と対応などを実施。
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・家畜市場価格や農家経済など、情勢を注視しながら事業を継続して実施する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・畜産振興会議の開催(19回) ・飛騨畜産振興会(飛騨3市1村及びJAなどで構成)で、畜政活動・畜産経営指導・共進会・全共取り組み・家畜伝染病への対策と対応などを実施。
評価等	・飛騨畜産振興会の活動への負担により、飛騨地域としての畜産振興が効率的に行われている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・家畜市場価格や農家経済など、情勢を注視しながら事業を継続して実施する。

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・畜産振興上の必要経費を主体とし、畜産振興団体への支援負担金・報酬等により畜産振興を図る ・飛騨畜産振興会負担金
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52205 後継者等肉用牛貸付事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費	個別分野		7	畜産業							
	項	2	畜産業費	施策概要		4	担い手の育成・確保							
	目	2	畜産振興費	根拠計画										
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨牛繁殖基盤を確保・拡大し、畜産の安定経営を図る。	概要	肉用繁殖雌牛の5年間無償貸付
----	-----------------------------	----	----------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,272頭	3,340頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		31,000	13,600	31,000	30,948	14,300	700
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(畜産振興基金繰入金)	31,000	13,600	31,000	30,948	14,300	700
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	後継者等肉用牛貸付事業	31,000	13,600	31,000	30,948	14,300	700

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		31,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
31,000	31,000	31,000	0	
31,000	31,000	31,000	0	
0	0	0	0	
査定額	説明			
31,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・貸付頭数 高齢者19頭、後継者12頭
評価等	・高齢化や後継者不足により、繁殖農家戸数が急激に減少する中、繁殖雌牛飼養頭数の減少を低率に食い止めている。(H26→H27 戸数▲4.9% 頭数▲0.9%) ・大規模飼養農家ばかりでなく、小規模飼養農家にとっても繁殖雌牛の保留や導入が可能であり、経営継続に効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため、内容等の見直しを視野に入れながら継続する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・貸付頭数 高齢者27頭、後継者7頭
評価等	・繁殖農家戸数の減少等により7年間減少が続いていた繁殖雌牛飼養頭数が増加に転じた。(H27→H28 頭数+2.1%) ・大規模飼養農家ばかりでなく、小規模飼養農家にとっても繁殖雌牛の保留や導入が可能であり、経営継続に効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・繁殖農家の経営にとって有効な事業であるため、事業の適切な推進を図り継続する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・飛騨牛繁殖基盤の確保並びに畜産経営の安定化
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52210 家畜防疫衛生事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
			項	2	畜産業費		施策概要	3	販路の拡大と供給の安定化		
			目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜伝染病の発生予防に努め、低コストで高品質な畜産物の安全安心な生産・供給による畜産経営の向上を図る。	概要	・伝染病調査及び発生予防 ・法定家畜伝染病予防接種助成 ・家畜伝染病予防消毒薬備蓄及び配付
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	97億円	104億円	79億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		1,360	1,055	1,360	1,360	1,078	23
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(家畜診療等収入)	1,360	918	1,360	1,360	922	4
一般財源		0	137	0	0	156	19
個票枝番	主な事業内容						
	家畜防疫衛生事業	1,360	1,055	1,360	1,360	1,078	23

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,400
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,999	1,160	1,160	△ 200	
1,338	1,160	1,160	△ 200	
661	0	0	0	
査定額	説明			
1,160				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 65,000羽 ・県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病) 30頭 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,278頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性のある伝染病等の発生がみられず、防疫事業による予防効果は上がっている。 ・自衛防疫の観点から、生産者自らが防疫措置をとることは重要だが、市及び飛騨地域全体が統一した防疫措置を図る必要があるため、市が主体となって防疫事業を進めることは妥当である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・伝染病浸潤状況の調査 ・法定家畜伝染病(鶏ニューカッスル病)予防接種助成 58,000羽 ・県外導入豚特定疾病検査(オーエスキー病) 26頭 ・届出伝染病(牛白血病)抗体検査 1,461頭 ・家畜伝染病対策マニュアルの作成及び周知
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急性のある伝染病等の発生がみられず、防疫事業による予防効果は上がっている。 ・自衛防疫の観点から、生産者自らが防疫措置をとることは重要だが、市及び飛騨地域全体が統一した防疫措置を図る必要があるため、市が主体となって防疫事業を進めることは妥当である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や伝染病の浸潤調査を実施し、防疫措置を講じていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・全国における動向の把握及び家畜の伝染病浸潤状況調査 ・消毒薬・消毒機器等の整備による防疫対策及び予防ワクチン接種
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52215 家畜人工授精事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
			項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優良子牛の生産、増頭により家畜の改良増殖を推進し、農家の経営安定を図る。	概要	・家畜改良、増頭の推進 ・和牛、乳牛の家畜人工授精 ・和牛、乳牛の受精卵移植、採卵
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,272頭	3,340頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		25,300	24,323	24,560	24,560	24,110	△ 213
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(人工授精等手数料)	7,515	6,824	7,815	7,815	7,204	380
一般財源		17,785	17,499	16,745	16,745	16,906	△ 593
個票枝番	主な事業内容						
	家畜人工授精事業	25,300	24,323	24,560	24,560	24,110	△ 213

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
25,270	24,680	24,680		120
7,527	7,815	7,815		0
17,743	16,865	16,865		120
査定額	説明			
24,680				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・人工授精 3,164件 ・受精卵移植 106件 ・採卵 37件
評価等	・人工授精業務の市直営班と業務委託先ともに、技術者が農家への指導的立場として業務を実施したことにより「飛驒牛」ブランドの推進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・人工授精 3,347件 ・受精卵移植 129件 ・採卵 37件
評価等	・人工授精業務の市直営班と業務委託先ともに、技術者が農家への指導的立場として業務を実施したことにより「飛驒牛」ブランドの推進につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・既存の委託先との協議を進め、直営地区の委託化を検討しながら、更なる飛驒牛のブランド化や受胎率の向上を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・優良牛の増産・増頭のための農家支援

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費	個別分野		7	畜産業							
	項	2	畜産業費	施策概要		1	活気ある畜産生産地づくり							
	目	2	畜産振興費	根拠計画										
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭(H36)を目指すため、飛騨牛の地元畜産率の向上と飛騨牛ブランドの向上を図る。	概要	・牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人又は農業生産法人に対し助成する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
肉用牛繁殖雌牛飼養頭数	3,272頭	3,340頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		15,000	5,000	12,000	12,000	7,615	2,615
特定財源	国費()						
	県費(繁殖牛舎等建設支援事業費 1/3 1/4)		2,962	8,250	8,250	5,700	2,738
	その他()						
一般財源		15,000	2,038	3,750	3,750	1,915	△ 123
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	繁殖牛舎等の整備に対する助成	15,000	5,000	12,000	12,000	7,615	2,615

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
30,630	37,650	37,650		25,650
27,530	29,650	29,650		21,400
3,100	8,000	8,000		4,250
査定額	説明			
37,650	肉用繁殖牛舎新設 2棟、酪農牛舎新設 1棟、農業機械導入 3件			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・繁殖牛舎新設 1棟
評価等	・増頭対策にあたり、初期投資の軽減を図ることは有効であり、増頭が促進されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・繁殖牛舎改築 1棟 ・堆肥舎新設 1棟
評価等	・増頭対策にあたり、初期投資の軽減を図ることは有効であり、増頭が促進されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。

施策の実施方針	・農林畜産物の生産販売の強化に関する施策の新規・拡大を検討すること。
担当課 予算要求 ポイント	・肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭の目標達成に向けて、基盤となる牛舎建設等を推進 ・全畜種農家の生産基盤強化と経営安定化を推進

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52220 繁殖牛舎整備費助成事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
枝番・内容	1 繁殖牛舎等の整備に対する助成		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2240	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	肉用繁殖雌牛飼養頭数3,500頭(H36)を目指すため、飛騨牛繁殖牛舎等の整備を支援する。	概要	牛舎建設等を行う生産農家、新規就農者、農事組合法人または農業生産法人に対し助成する。
----	---	----	--

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	15,000
	繰越	
	補正等	
	最終	15,000
決算額		5,000
対前年度増減額(決算)		15,000

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・繁殖牛舎建設支援事業補助金 12,000	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	12,000
	繰越	
	補正等	
	最終	12,000
決算額		7,615
対前年度増減額(決算)		2,615

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	37,650
主な経費	・繁殖牛舎建設支援事業補助金 37,650	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> 支援した施設 肉用繁殖牛舎新設 1棟
[評価]	<ul style="list-style-type: none"> 事業者側の諸事情で実施できない事業があったものの、新設された県事業も活用し、肉用繁殖牛の増頭を促進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 支援予定の施設 肉用繁殖牛舎改築 1棟 堆肥舎新設 3棟 飼料庫新設 1棟
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> H28年4月～6月 ヒアリング H28年7月～H29年3月 各事業実施 完成後に検査

事業実績・評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> 支援した施設 肉用繁殖牛舎改築 1棟 堆肥舎新設 1棟
[評価]	<ul style="list-style-type: none"> 事業者側の事情により予定どおり実施できない事業があったが、肉用繁殖牛の増頭を促進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に事業のPRを行い、畜産農家の投資を軽減し、繁殖雌牛の増頭を促進する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> 市援予定の施設 肉用繁殖牛舎新設 2棟 酪農牛舎新設 1棟 農業機械導入一式 3件
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> H29年4月～6月 ヒアリング H29年7月～H30年3月 各事業実施 完成後に検査

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	5225 家畜改良推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
			項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・家畜の改良度や改良の方向性の確認のため各種品評会を開催することにより、畜産物のブランド化を進め、農家の意欲向上による増産を図る。	概要	・各種品評会の開催
----	---	----	-----------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
肉用繁殖雌牛飼養頭数	3,272頭	3,340頭	3,400頭

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,540	2,300	1,980	2,041	1,947	△ 353
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、家畜診療等収入)	424	355	424	424	370	15
一般財源		2,116	1,945	1,556	1,617	1,577	△ 368
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	第11回全国和牛能力共進会出品への奨励			1,000	1,000	1,000	1,000
	家畜改良推進事業	2,540	2,300	980	1,041	947	△ 1,353

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
12,545	7,060	7,060	5,080
446	2,224	2,224	1,800
12,099	4,836	4,836	3,280
査定額	説明		
5,060			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市畜産共進会の開催 ・全日本ホルスタイン共進会負担金(飛騨畜産振興会) 出場牛への支援 ・畜産振興アドバイザーの設置
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨畜産振興会への負担により飛騨地域の畜産改良事業が推進されている。 ・市畜産共進会等の開催により、畜産農家相互の意見交換や畜産改良の方向性等を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県・他市村・JA等関係団体と連携を密にし、各種品評会を実施し、更なるブランド化を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市畜産共進会の開催 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 候補牛への支援
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨畜産振興会への負担により飛騨地域の畜産改良事業が推進されている。 ・市畜産共進会等の開催により、畜産農家相互の意見交換や畜産改良の方向性等を確認することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県、他市村、JA等関係機関と連携を密にし、各種品評会を実施し更なるブランド化を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・飛騨高山のブランド戦略の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・品評会、共進会等の開催によるレベルアップ ・第11回全国和牛能力共進会(宮城大会)の取り組みへの支援
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・全国和牛能力共進会に向けた取組みに要する経費を計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52225 家畜改良推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 畜産課
枝番・内容	1 第11回全国和牛能力共進会出品への奨励		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	畜産業費	内線	2240	
		<input type="checkbox"/>		目		2	畜産振興費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	全国和牛能力共進会を契機に、飛騨牛の日本一奪還など関係者意識の高揚とともに家畜改良技術の向上を目指し、畜産物のブランド化及び農家の意欲向上による増産を図る。	概要	・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償 50頭 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会)候補牛、出場牛への支援
----	--	----	--

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		1,548

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 1,000	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		1,000

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	5,060
主な経費	・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償 3,500	
	・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 1,000 ・職員派遣旅費 560	
対前年度増減額(当初予算)		4,060

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 候補牛への支援	
[スケジュール] ・全国和牛能力共進会 候補牛への支援 1年間	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 候補牛への支援	
[評価] ・予定どおりの事業を実施できた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・全国和牛能力共進会最終候補牛、出場牛への報償 50頭 ・全国和牛能力共進会負担金(飛騨畜産振興会) 候補牛、出場牛への支援	
[スケジュール] ・全国和牛能力共進会 候補牛、出場牛への支援 H39年4月～9月	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52230 牧場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
			項	2	畜産業費		施策概要	1	活気ある畜産生産地づくり		
			目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・夏山冬里方式の飼養管理として放牧を推進し、他産業との複合経営の促進、飛騨牛の低コスト生産及び増産を図る。	概要	・放牧場の整備・充実を図るとともに、適正な牧場利用調整・推進を図る。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
畜産粗生産額(年間)	97億円	104億円	79億円
地域内飼料自給率	29%	29%	31%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		21,850	21,076	22,350	22,350	20,293	△ 783
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(放牧料)	10,800	7,092	10,800	10,800	6,579	△ 513
一般財源		11,050	13,984	11,550	11,550	13,714	△ 270
個票枝番	主な事業内容						
	牧場運営事業	21,850	21,076	22,350	22,350	20,293	△ 783

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
23,763	21,350	21,350		△ 1,000
7,783	7,800	7,800		△ 3,000
15,980	13,550	13,550		2,000
査定額	説明			
21,350				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 47,014頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛騨牛の安定生産・飛騨牛ブランドの向上が図られている。 ・牧場の現況に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・5牧場における放牧延べ頭数 43,859頭
評価等	・夏山冬里方式により、畜産農家の負担が軽減され、更に飛騨牛の安定生産・飛騨牛ブランドの向上が図られている。 ・牧場の現況に応じた放牧頭数の調整を行い、堆肥・肥料・牧草種子散布等により放牧場を活性化し、放牧頭数の増頭を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・牧場の管理方法と牧場における迅速な家畜伝染病防疫体制の強化

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・放牧場内施設の老朽化による修繕 ・家畜伝染病対策等の防疫措置の向上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52235 優良飛驒牛固定推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	7	畜産業		
			項	2	畜産業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	2	畜産振興費		根拠計画				
担当課	農政部 畜産課	内線	2240								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・遺伝的に生産性が高い繁殖牛や優良な乳用牛の保留または導入によるブランド強化	概要	・優良飛驒牛、優良乳用牛増頭に対する助成 ・家畜共済対象外の早期の流死産等の事故に対する互助のための基金造成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
生乳生産量(年間)	9,594t	9,988t	10,000t

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		42,070	35,366	42,070	42,061	34,451	△ 915
特定財源	国費()						
	県費(繁殖雌牛増頭支援事業費 10/10)						
	その他(優良雌牛保留対策事業雑入)	17,550	14,391	17,550	17,550	13,923	△ 468
一般財源		24,520	20,975	24,520	24,511	20,528	△ 447
個票枝番	主な事業内容						
	優良雌牛保留導入に対する助成	35,100	28,782	35,100	35,100	27,846	△ 936
	優良乳用牛保留導入に対する助成	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	0
	優良飛驒牛固定推進事業	5,920	5,534	5,920	5,920	5,555	21

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		42,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
43,470	42,070	42,070	0	
1,500	1,500	1,500	1,500	
17,550	17,550	17,550	0	
24,420	23,020	23,020	△ 1,500	
査定額	説明			
35,100				
1,050				
5,920				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・優良雌牛保留対策 123頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成に係る素畜経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、頭数、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげるのに効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・優良雌牛保留対策 119頭 ・優良飛驒牛増頭推進 50頭 ・優良乳用牛保留・導入対策 30頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・肉用繁殖雌牛や乳用牛育成に係る素畜経費は大きな負担であるが、本事業はブランド強化、頭数、経営維持に有効である。 ・家畜共済で補填されない流死産等の子牛事故に対する互助事業を支援することにより、繁殖経営の影響を和らげるのに効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・優良雌牛の保留・導入 ・組合員相互の連携強化と意欲的な「飛驒牛」改良生産強化
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	52245 飛騨食肉センター助成事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興等を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産業費	個別分野		7	畜産業							
	項	2	畜産業費	施策概要		3	販路の拡大と供給の安定化							
	目	2	畜産振興費	根拠計画										
担当課	農政部 畜産課	内線	2240											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・畜産の振興及び安全・安心な食肉の安定供給	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
肉用肥育牛飼養頭数	5,735頭	5,414頭	6,200頭
肉豚出荷頭数	5,771頭	5,563頭	6,000頭

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		68,215	66,915	68,305	68,305	65,813	△ 1,102
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		68,215	66,915	68,305	68,305	65,813	△ 1,102
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨食肉センター助成事業	25,755	25,755	25,755	25,755	25,755	0
	BSE対策、肉豚出荷等に対する助成	42,460	41,160	42,550	42,550	40,058	△ 1,102

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		68,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
68,515	68,515	68,515	210	
68,515	68,515	68,515	210	
査定額	説明			
25,755				
42,760				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険部位焼却に係る経費の一部助成(BSE対策) ・食肉センター建設に係る地元負担金(債務負担) ・豚と畜ライン停止による近隣と畜場への輸送費等の助成 ・と畜部門運営経費の一部助成
評価等	・食味性が高い飛騨牛が飛騨食肉センターを介して、安全安心な畜産物として国内外に供給されることで、更にブランド力が増進されている。飛騨広域の支援により、極めて高い衛生レベルで食肉処理加工が実施できている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・飛騨牛の振興、食肉の安定供給
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに